

	アピールポイント	課題
I 利用者本人の尊重	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの最善の利益を考慮し、保護者と連携を取り合い、子どもが安心して過ごせる温かい保育を職員全員で実施している。 子どもの心に寄り添い、思いを受け止め、生活や遊びを通して、一人ひとりが自主性・主体性を持って安心して自己発揮しながら、意欲や探究心が深まるよう環境設定を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境への配慮や工夫を促し、保育の質の向上に関しては、本園の良さや課題を把握し改善のための具体的な取り組みを明示して指導するよう努めている。 コロナウイルス感染予防に努めながら、子どもの主体性を大切にされた保育の取り組みや適切な環境構成、再構成の工夫についてさらに深めていく。
II サービスの実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが豊かな心と身体の成長を育み、生活や遊びの充実が図れるような環境作りに努めている。 近隣の保育園や姉妹園・小学校と交流を通し、子どもたちが人に親しみをもち人との関わりが豊かになるようにしている。 非常災害時に対応するため、消防署や地域の方や企業に相談し、必要な協力を得られるよう連携を密に取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本園の理念や保育方針を全職員で理解し、周知状況の確認を把握し、継続的に取り組んでいるが、断片的にならないよう内容の充実を図る。 コロナ禍においても子ども達の園での様子や、行事等の様子をドキュメンテーションやクラスだより等、様々な方法で工夫しながら、保護者に伝えるよう引き続き努めていく。また、アンケート調査を行い、保護者の要望に応えるよう努める。 引き続きコロナ感染症拡大防止のため『安心・安全』で豊かな環境設定を行っていく。
III 地域支援機能	<ul style="list-style-type: none"> 散歩先の公園で一緒になった同年代の親子と遊びながら交流を持ち、育児相談にも応じている。 近隣の保育園や小学校とコロナ感染予防対策を取りながら、無理せず交流保育を行っている。また、情報交換も行っている。 小学校就学に向けて先生方とも連携を取っている。 施設見学の方や地域の方の育児相談等に応えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に知ってもらう工夫や、情報提供する方法を考え浸透させる必要がある。 地域の子育て親子に向けて、子育て支援や保育園の専門性を生かした子育てサービスの提供を考えている。 コロナ禍で交流会は少なくなっているが、可能な範囲で、交流が持てるよう地域で考えていくようにしていきたい。
IV 開かれた運営	<ul style="list-style-type: none"> 本園の様々な情報については、ホームページ、園パンフレット、行事案内の等の刊行物の掲載、配布、説明並びに園の施設見学等を通じて積極的に情報を発信し理解を深めて頂くとともに、保護者及び地域の方々と連携及び協力して開かれた保育運営を行っている。 幼保小の地区委員として小学校や各施設との交流を深め、地域の小学校の絵本の読み聞かせにも職員が参加している。 施設見学を随時行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育サービスのニーズの多様化により幅広い専門性が求められている中で、職員間で今以上に学び合い情報を収集する工夫をしながら、地域の子育て力の向上に繋がるような支援を展開できるよう努めていきたい。 保護者からの要望に真摯に向き合い誠意をもって対応するよう努める。
V 人材育成・援助技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> 本園では、子どもの人権を尊重し、最善の利益を考慮した保育を展開しており、職務内容に応じた専門性を高めるため、積極的に園外研修に参加し、職員間で学んだことを共有し共通理解を深めている。 毎月、園内研修を行い、職員全体で話し合いや意見交換を行い、知識や技術を習得し、より専門性を高めることに努めている。研修内容は、非常勤職員とも共有している。 実習生や中・高校生の職業体験の受け入れを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で研修に行く機会が減ったが、研修で学んだことを職員会議で共有し、職員間で理解が深められるようにしていく。 自己評価及び職員面接を実施しながら、自己評価の人材育成課題の解決や面接の際の職員の要望に応えるよう努めていく。 保育の専門性を理解し知識や技術をより深め、保育の質の向上に努める。

<p>VI 経営管 理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本園は、経営における社会的責任のある学校法人の保育園として、コンプライアンスの積極的な取り組みを行っています。効率的な運営を目指し、園の中長期的な計画や目標を踏襲しつつ、業務の効率化と改善に向けて、人事労務、財務等の面から分析を行い実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営の透明性の観点等から更なる経営及び運営状況等の情報公開と保育展開に引き続き努める。 ・様々なニーズへの対応の難しさを感じる。
---------------------	--	--

評価領域Ⅱ 保育の実施内容

評価分類Ⅱ－1 保育内容

【遊び】

評価項目Ⅱ－1－(1)

子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どもがおもちゃや教材等を自分で取り出して遊べるようになってきている。	
	<input type="radio"/> 年齢や発達にふさわしい環境構成に配慮している。	
	<input type="radio"/> 子どもがそれぞれ落ち着いて遊べる環境を確保している。	
	<input type="radio"/> 子どもが自分の好きなことをして遊び込める時間が十分に確保されている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・狭い空間を最大限に工夫した環境を整え、職員間で連携を図り、異年齢で遊んでいる。 ・子どもが玩具を取り出しやすい高さの棚を設置し、好きな玩具や教材を自由に取り出させるようにしている。		

評価項目Ⅱ－1－(2)

遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どもの自由な発想を受け止め、それを集団活動に取り入れている。	
	<input type="radio"/> 子どもがそれぞれ自由にごっこ遊びをしたり、落ち着いて一人で遊んだりしている。	
	<input type="radio"/> 一斉活動は、みんなで一緒に遊ぶ楽しさとともに、友達関係やルールを守る等の社会性を重視して、年齢に応じて取り入れている。	
	<input type="radio"/> 自由遊びの中で一人一人が興味・関心を持って遊べるよう、保育士が援助している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・年齢に応じてルールのある遊びを取り入れ、子どもが興味を持った遊びを行事の内容につなげていくなど工夫している。 ・お散歩時に交通ルールを覚え、道徳性を身に付けている。 ・幼児クラスは廃材や画用紙、ハサミ、サインペン等、色々な材料や道具を使って自由に遊べる様にしている。また、遊びが継続できるよう配慮している。 ・子どものやりたい気持ちを大切に、個別の対応を丁寧に行っている。		

評価項目Ⅱ－1－(3)

動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 栽培や飼育を通して得られる体験を、保育活動にフィードバックしている。	
	<input type="radio"/> 子どもたちが散歩等で、日常的に地域の大人や子どもたちと挨拶・会話を交わしている。	
	<input type="radio"/> 園外活動で地域を知り、自然に触れる機会を積極的に設けている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
その他の工夫事例： ・栽培した野菜や果物を収穫し、食育へつなげている。 ・めだかを飼育しており水換え、餌やりを子どもが行っている。 ・幼児クラスは毎年、秋に芋掘りに出掛け、自然に触れる機会を設けている。 ・アゲハチョウを幼虫から飼育したり、より豊かな思いやりの心が育つよう心掛けた。		

評価項目Ⅱ-1-(4)

子どもが歌やリズム、絵や文字、体を動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現できるよう配慮している。	
	<input type="radio"/> 子どもが自由に使えるように様々な素材を用意するなど配慮されている。	
	<input type="radio"/> 子どもが自由に歌ったり、絵や文字を描いたりしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
その他の工夫事例： ・折り紙、自由画帳、新聞紙、廃材など、いろいろな素材の物が保育室にあり、のりやセロテープやペン、色鉛筆などの道具も自由に使えるようにしている。 ・子どもたちが作った物を自由に飾れるコーナーを用意し、製作意欲につながっている。		

評価項目Ⅱ-1-(5)

遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子ども同士のけんか等については、危険のないよう見守りながら、子ども同士で解決ができるよう援助している。	
	<input type="radio"/> 異年齢の子ども同士が関わりを持てるよう配慮している。	
	<input type="radio"/> 職員は、常に公平で温かい態度・言葉遣い等で子どもに接し、信頼関係を築いている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
その他の工夫事例： ・子どもの思い、気持ちをしっかりと受け止め、保育者が仲立ちをして考え、子どもの自主性、思いやり、信頼関係を築いている。		

評価項目Ⅱ-1-(6)

積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 散歩や屋外活動などを積極的に取り入れている。	
	<input type="radio"/> 散歩や屋外活動などを行う際には、紫外線対策やアレルギーへの対処を行っている。	
	<input type="radio"/> 様々な遊びの中で、子どもの興味や関心、能力に応じて全身を使って楽しく活動できるよう工夫している。	
	<input type="radio"/> 子どもの既往歴や健康状態に合わせた遊びを工夫している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・戸外に出る際はネックガード付の帽子をかぶり、紫外線対策を行っている。 ・ウッドデッキやベランダで遊ぶ際には直射日光をさげ遮光テントの下で遊べるようにしている。 ・野内外共に全身を使って楽しく遊べるように玩具を用意している。		

【生活】

評価項目Ⅱ-1-(7)

食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 保育士が、子どもの負担になるほどに残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりせずに、個人差を考慮しながら援助している。	
	<input type="radio"/> 子どもが自分から食べようとする意欲や行動を大切にしながら、適切な言葉かけや援助をしている。	
	<input type="radio"/> 子どもたちが食事及びその過程（調理・配膳・片づけ）に関心を持つよう工夫している。	
	<input type="radio"/> 野菜などの栽培や、様々な食材を目にしたたり触れたりする機会を設け、調理員との関わりにも配慮している。	
	<input type="radio"/> 乳児の授乳にあたっては、ほしがる時に、抱っこして声をかけながら与えるようにしている。（注※1）	
B	Aの中でいずれか4つは該当する。対象乳児がない場合は2つは該当する。	
C	Aの中で1～3つ該当する、または全く行っていない。対象乳児がない場合は1つのみ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・幼児クラスは、盛り付けなどを工夫し、行事食の提供を行っている。食べ終わった食器の片付けを自分でやっている。 ・栄養士が、幼児クラスで箸の使い方を指導を行っている。 ・乳児は個人差が大きいので、一人ひとりの子どもの発達に合った適切な形態の食事を用意している。 ・コロナ感染予防対策の為、幼児クラスは配膳は職員が行い、机の中央に飛沫防止のパーテーションを立てている。		

評価項目Ⅱ-1-(8)

食事の場、食材、食器等に配慮しているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 季節感がある献立や食欲がわくような盛りつけなどの食事作りに配慮している。	
	<input type="radio"/> 食事の場としての雰囲気づくりに配慮している。	
	<input type="radio"/> 食材や食器の安全性に配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・食器は年齢に合った温かみのある、安全性の高い陶器の物を使用している。 ・クッキングや皮むき、野菜洗いなど、年齢に合った食育活動を行っているが、今年度はコロナ感染症防止対策に努めながら実施した。 ・今年度、コロナ感染拡大防止対策を取りながら、野菜の栽培や野菜洗い、個別製作のクッキングや栄養士や保育士が行事食の由来を話すなどの食育活動を行った。		

評価項目Ⅱ-1-(9)

子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に生かしているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どもの好き嫌いを把握し、盛り付けや調理方法を工夫している。	
	<input type="radio"/> 栄養士や調理担当者が、子どもたちの食事の様子を見る機会を設けている。	
	<input type="radio"/> 残食を調査記録し、献立・調理の工夫に反映させている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
その他の工夫事例： ・野菜を栽培し食育活動に反映している。 ・定期的に栄養士が食事の様子を見に来たり、食育活動や箸の使い方の指導を行ない、連携を取っている。 ・月に一度、栄養士と担任、園長、主任で給食会議を行い、子どもの食事の様子を伝え、盛り付けや調理方法の工夫をしたり、食育活動の取り組みについて、話し合いを行っている。		

評価項目Ⅱ-1-(10)
子どもの食生活について、家庭と連携しているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 献立表を作成し、事前に配布している。	
	<input type="radio"/> 献立作成のポイントを明記した情報提供を行っている。	
	<input type="radio"/> 定期的にレシピを提示し、保護者に保育所で提供する食事に対する関心をもてるようにしている。	
	<input type="radio"/> 保護者が試食できる機会等を設けて、栄養・味付け・食べ方（噛み方）等、保育所で配慮していることを知らせている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： <ul style="list-style-type: none"> ・給食のサンプル（写真）を毎日掲示している。 ・入園児に離乳食試食会を設け、一人ひとりの発達に合う食事を提供できるよう保護者と連携を取っているが、今年度もコロナ感染症防止対策の為、試食会は中止し慣らし保育中に個別に行った。 ・献立表は、離乳食、幼児食、アレルギー食は別に作成し、毎月、給食だよりも発行し配布している。 ・乳児クラスは、毎日、個人の連絡ノートに食べた量を記載している。 ・子どもに人気のあるメニューのレシピ用紙を用意し、自由に持ち帰りができるようにしている。 		

評価項目Ⅱ-1-(11)
午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 眠れない子ども、眠くない子どもには午睡を強要せず、静かに過ごさせるなど柔軟な対応をしている。	
	<input type="radio"/> 安心して心地よい眠りにつけるよう、午睡・休息の場を工夫している。	
	<input type="radio"/> 乳幼児突然死症候群に対する対策を行っている。	
	<input type="radio"/> 年長児には適当な時期から午睡を一斉活動としていない。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： <ul style="list-style-type: none"> ・SIDS予防に、0歳児は5分、1.2歳児は10分ごとに呼吸の確認を行い、チェック表に記入している。 ・乳児、幼児ともうつぶせ寝はしないようにしている。 ・眠れない子どもは、午睡を強要せず、布団の上で静かに過ごしたり、絵本等を見て体を休めている。 ・乳児は個々の生活リズムに合わせて入眠出来るようにしている。 ・0歳児クラスはシエスタベを導入し、ICT化の下、睡眠チェックを行っている。 		

評価項目Ⅱ-1-(12)
排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 一人一人の排泄のリズムをとらえ、個人差を尊重している。	
	<input type="radio"/> トイレトレーニングは一人一人の発達状況に応じて個別に対応している。	
	<input type="radio"/> 保育所での排泄状況を保護者に伝え連携を密にしている。	
	<input type="radio"/> おもらしをした子どもを激しく叱ったり、心を傷つけるような対応をしてはならないことを、全職員が認識している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： <ul style="list-style-type: none"> ・トイレトレーニング開始時は、一人ひとりの発達状況に応じて個別に対応している。また、ノートに排尿時間を記入し伝えている。 ・おもらしをした子はシャワーで体を流し、清潔に気持ちよく過ごせるようにしている。 		

評価項目Ⅱ-1-(13)

長時間にわたる保育のための環境を整え、配慮した保育が行われているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どもの状態に応じ、ゆったりとくつろいで過ごすことができるよう、玩具やコーナーを工夫し環境を整えている。	
	<input type="radio"/> 保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつを提供している。	
	<input type="radio"/> 子どもの状況について、保育士間の引き継ぎを適切に行い、子どもが安心して過ごせるようにしている。	
<input type="radio"/> 担任等子どもを担当する保育士と保護者の連携が十分にとれるよう配慮している。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・各クラスごとに引き継ぎノートがあり、毎日職員のシフトごとに申し送りを記入し、更に口頭でも伝えることを徹底し、子どもが安心してすごすようにしている。 ・延長保育利用児の希望児には、手作りの補食や夕食を提供している。		

評価分類Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理

【健康管理】

評価項目Ⅱ-2-(1)

子どもの健康管理は、適切に実施されているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人一人の健康状態を把握している。	
	<input type="radio"/> 既往症について常に保護者から情報を得られるように努め、対応を関係する職員に周知している。	
	<input type="radio"/> 必要に応じて園での子どもの健康状態を保護者に伝え、降園後の対応について話し合っている。	
	<input type="radio"/> 食後の歯磨き指導を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・歯科健診でブラッシング指導を行っているが、今年度もコロナ感染症防止対策の為、中止とした。 ・給食後も歯みがきを行い、毎日、自宅に持ち帰り、衛生的に管理しているが、今年度もコロナ感染症対策の為、園での歯みがきは中止とした。 ・毎朝、全身の視診を行い、保護者と連携を取っている。		

評価項目Ⅱ-2-(2)

健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 一人一人の健康診断・歯科健診の記録がある。	
	<input type="radio"/> 健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝え、連携を密にしている。	
	<input type="radio"/> 健診結果に基づき、嘱託医やかかりつけ医との連携を図っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
その他の工夫事例： ・子どもたちの健康面でいつでも相談が持てるよう、連携が取れている。		

評価項目Ⅱ-2-(3)

感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応がマニュアルに明記され、保護者に周知している。	
	<input type="radio"/> 保育中に発症した時は、保護者への連絡をすみやかにし、対応については保護者の事情も考慮している。	
	<input type="radio"/> 感染症が発生した時は、速やかに保護者に情報提供している。	
	<input type="radio"/> 感染症に関する最新情報を職員が共有している。	
B	感染症等への対応に関するマニュアルがある。	
C	感染症等への対応に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	
その他の工夫事例： ・感染症が発生した時は、園内掲示板に掲示し情報提供している。 ・入園時に『学校において予防すべき感染症』という資料を配布し、園全体で共通周知している。		

[衛生管理]

評価項目Ⅱ-2-(4)

衛生管理が適切に行われているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> マニュアルは、職員参加により定期的（内容により異なるが、最低年1回を目安）に見直しを行っている。	
	<input type="radio"/> マニュアルの内容を全職員が共有するため、定期的（採用時に1回、採用後は最低年1回）に研修を実施するなど、具体策を講じている。	
	<input type="radio"/> マニュアルに基づき清掃等が行われ、清潔・適切な状態が保たれている。	
B	衛生管理に関するマニュアルがある。	
C	衛生管理に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	
その他の工夫事例： ・鼻水をかんだ場合は、感染を防ぐ為、ティッシュをポケットに入れずにゴミ箱に入れ、必ず手のアルコール消毒を行うようにしている。 ・マニュアルに基づき、毎日保育室内外の清掃が行なわれている。 ・衛生管理マニュアルを整備し、園内研修を行っている。 ・全室掃除後、毎日チェック表に記入している。又、年2回の園内定期清掃と害虫駆除を業者に委託している。		

[安全管理]

評価項目Ⅱ-2-(5)

安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 睡眠中、プール活動、水遊び中、食事中等の場面で重大事故が発生しやすいことを理解し、子どもの主体的な活動を大切にしつつ対策を講じている。	
	<input type="radio"/> 地震等を想定し、備品等の転倒防止など安全対策を講じている。	
	<input type="radio"/> マニュアルは、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されている。	
	<input type="radio"/> 緊急連絡体制が確立している。	
	<input type="radio"/> 通報や連絡体制の予行演習、地域の避難場所等への誘導などの訓練を実施している。	
	<input type="radio"/> 職員が救急救命法を身につけている。	
B	安全管理に関するマニュアルがあり、Aの中で4つ以上該当する。	
C	安全管理に関するマニュアルがない。または、Aの中で1～3つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・消防署と連携し、定期的に救命救急法の講習を行なっているが、今年度はコロナ感染症防止対策の為、中止となった。 ・園内にAEDを設置している。 ・避難先の小学校にも備蓄品を置かせてもらっている。 ・近隣の会社に災害時の応援体制と近隣マンションに避難場所のお願いをしている。 ・0歳児はシエスタベベを導入し、午睡中、呼吸と心拍の確認を担任と二重で行っている。		

評価項目Ⅱ-2-(6)

事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 保護者や救急機関、地域への連絡体制が確立している。	
	<input type="radio"/> 子どものケガについては、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告し、記録している。	
	<input type="radio"/> 職員会議などで事故の報告、再発防止策の検討が行われ改善策が実行されている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
その他の工夫事例： ・安全管理マニュアルを整備し職員で周知している。 ・事故報告書、ヒヤリハット等を記入し、再発防止に心掛けている。 ・怪我があった場合、すぐに医療機関が分かるよう一覧表にしている。		

評価項目Ⅱ-2-(7)

外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="checkbox"/> 不審者等の侵入防止策（出入口の施錠等）が講じられている。	
	<input type="checkbox"/> 不審者等に対する緊急通報体制が確立されている。	
	<input type="checkbox"/> 不審者の情報が関係機関、近隣住民等から得られるネットワークができています。	
B Aの中でいずれか1つは該当する。		
C 上記のいずれにも該当しない。		
その他の工夫事例： <ul style="list-style-type: none"> ・不審者侵入を想定した防災訓練を実施している。 ・ICカードによる入退室管理を行い、安全面を重視している。 ・送迎者が変わった場合は連絡を入れてもらい、事前に写真を持参するか、身分証明書を提示して頂いている。 		

評価分類Ⅱ-3 人権の尊重

評価項目Ⅱ-3-(1)

保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どもに対して威圧的な言葉遣い、無視が行われないよう、職員間で相互に配慮している。	
	<input type="radio"/> せかしたり強制したりせず、穏やかに分かりやすい言葉で話している。	
	<input type="radio"/> 子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・子どもの最善の利益を保证する保育を行い、一人ひとりの個性を尊重する関わりをしている。 ・子どもの名前呼び方はちゃん、くんを基本としてニックネームは保護者が実際に呼んでいる呼びかたにしている。		

評価項目Ⅱ-3-(2)

必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 友達や保育士の視線を意識せず過ごせる場所がある。	
	<input type="radio"/> 必要に応じて、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所がある。	
	<input type="radio"/> 必要に応じて、プライバシーを守れる場所を用意することができる。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
その他の工夫事例： ・一対一で落ち着いて話をする機会があるときは、図書コーナー等を使用している。		

評価項目Ⅱ-3-(3)

個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 守秘義務の意義や目的を全職員（ボランティア・実習生含む）に周知している。	
	<input type="radio"/> 個人情報の取り扱いについてガイドラインをつくり、全職員に周知している。	
	<input type="radio"/> 個人情報の取り扱いについて、保護者に説明し理解を得ている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・個人情報保護規程が整備されており全職員で周知し、実習生、ボランティアにも説明し厳守するようにしている。		

評価項目Ⅱ-3-(4)

性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をしていない。	
	<input type="radio"/> 順番、グループ分け、整列など性別にしている。	
	<input type="radio"/> 子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的にとらえた話し方、表現をしないようにしている。	
<input type="radio"/> 無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、職員同士で反省する仕組みをつくっている。		
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・グループ分けや順番決めや色きめ等、性別にはこだわらず子どもの意思を尊重している。		

評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携

評価項目Ⅱ－４－(1)

保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 保護者に対しては、全体会または懇談会などで説明する機会を設けている。	
	<input type="radio"/> 保護者に対して、園独自のアンケートなどで保育方針が理解されているかどうか把握している。	
	<input type="radio"/> 日常保育の中で、園だよりや連絡帳などで保育方針が理解されるよう努力している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・入園説明会や懇談会や毎年4月の園だよりで園の教育方針を伝えている。		

評価項目Ⅱ－４－(2)

個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 子どもの送迎時に、その日の子どもの様子を伝えるよう配慮している。	
	<input type="radio"/> 連絡帳やメールなどできめ細かに情報交換を実施している。	
	<input type="radio"/> 保護者の意向を踏まえて個別面談を実施している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・懇談会を年2回行い、個別面談を年1回行っているが、今年度はコロナ感染症防止対策の為、懇談会はZOOMで開催した。 ・保護者に送迎時、子どもの様子を伝え、一緒に成長を喜び信頼関係を大切にしているが、今年度はコロナ感染症拡大防止対策の為、日頃の保育の様子は定期的に各クラスごとにドキュメンテーションを作り、発信した。		

評価項目Ⅱ－４－(3)

保護者の相談に応じているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 相談内容などを人に聞かれないで相談できるよう、配慮している。	
	<input type="radio"/> 相談を受けた職員が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制になっている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
その他の工夫事例： ・相談の内容に応じ、園長・主任に助言を受け適切な対応ができるよう人目をさげ休憩室を使用し複数の職員で行う等配慮している。		

評価項目Ⅱ-4-(4)
保育内容（行事を含む）など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 「園だより」などを定期的に発行している。	
	<input type="radio"/> 園内に、その日の保育の様子を知らせる情報を掲示している。	
	<input type="radio"/> クラスごとの保護者懇談会などで、保育内容・目的を分かりやすく説明し情報提供を図っている。 <input type="radio"/> ビデオや写真などを撮って、日常の保育の様子を伝える努力をしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・子どもの成長が分かるように、日々の保育の様子や行事をドキュメンテーションで伝えている。 ・年1回、保護者に保育参加して頂き子どもの様子を見てもらう日を設けているが、今年度はコロナ感染症防止対策の為、中止となった。		

評価項目Ⅱ-4-(5)
保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 年間行事予定であらかじめ日時を知らせ、保護者が保育参加のための休暇等の予定を立てやすくしている。	
	<input type="radio"/> 保育参観または保育参加を積極的に受け入れている。 <input type="radio"/> 保育参観、懇談会等に出席できなかった保護者へのフォローを行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	
その他の工夫事例： ・1年を通して、要望に応じ保育参観、参加ができるようにしているが、今年度はコロナ感染症防止対策の為、中止となった。 ・年度初めに年間行事予定表を配布し、変更がある場合は、掲示や一斉メールでお知らせをしている。		

評価項目Ⅱ-4-(6)
保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	次の全てに該当する。	A
	<input type="radio"/> 保護者が自主的な活動をできるように場所等の提供をしている。	
	<input type="radio"/> 保護者の活動に要請があれば職員も参加をしている。 <input type="radio"/> 保護者（組織）とは常にコミュニケーションをとっている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	
その他の工夫事例： ・保護者の組織はないが運営委員会を設け保護者代表3名をお願いをして連携を取っている。		